



# 自治連だより

第18号



## 新年明けまして おめでとうございます

会長 渡邊 勘治郎

昨年は、国民期待のアベノミクスは失速に終わり、百年に一度の大自然災害は人々を無差別に襲い、消費税増税は市民の暮らしを圧迫し、市政においても市庁舎問題が結論を見ず、市民の間に政治不信が高まる中、鳥取市自治連合会では、皆様のご協力により、結成四十周年記念式典及び記念誌の発刊事業等を無事終わることができました。

このような中、政府は「地方の発展なくして国の発展なし」として「地方創生」を掲げ、中山間地域の活性化や人口増加対策等の基本方針（案）を策定しました。

中山間地域の面積が全市の九割を占め、その居住人口も十万人と言われる鳥取市、本年はその創生元年になると思われます。

本市自治連としても、従来のまちづくりに加えて、地域に若者が根づき、子育てしやすい環境づくりの取組みが重要となり、その核となる各地域の自発的な協力をお願いしたいと思っています。

本年が、新たなまちづくりの元年となると思います。その推進と併せ皆様のご多幸をご祈念しご挨拶いたします。

## 岩倉地区 仲良く元氣あふれる 町内会をめぐして

岩倉地区 立六緑町内会  
会長 山添 英明

我が町内会は五十三世帯です。会長になって八年になります。会長になる前は、町内会活動には仕事の為ほとんど参加することはなかったのですが、退職後は地域に恩返ししていこうと思い町内会長を

引き受け今に至っています。我が町内会の特色ある活動として年二回春・秋の市の一斉清掃の日に町内会全員で参加し、清掃終了後「立六緑町内会親睦ゴルフ大会」を開催しています。回を重ねるごとに参加数も増加し、今では町内住民同士の顔も覚え、当日参加していない人を心配するくらいになっていきます。又、年

二回消防士を

迎えて消火訓練・救急訓練を実施しています。そして町内会大イベント「夏の納涼祭」を二年ごとに実施。町内会の家族はもとより、県外・校区外の家族もかけつけての参加も目立ち、子供から高齢者までが楽しめるよう企画してとても賑やかです。二年に一度の開

催という事もあり、今では納涼祭を行わない年は、住民からの要望も多く「ミニ納涼懇親会」を開催しています。世間では町内の人とのふれあいが薄くなっている今、我が町内会は「みんなが集まるう」をモットーに町内会行事に力を入れていきます。これからも我が町内会住民が仲良く元気で暮らしていけるよう、少しづつではありますが全力で取組んで参りたいと思います。



東部消防職員の指導で救命救急訓練講習会



町内のグラウンドゴルフ大会後の表彰式と懇親会

# 平成二十六年度

## 三市姉妹交流会の概要報告

鳥取市自治連合会と姫路市連合自治会・岡山市連合町内会の三市姉妹交流会は、平成二十六年九月十七日（水）午前十時四十五分からホープスターとつとりにおいて、開催しました。

交流会は、鳥取市渡邊会長の歓迎の挨拶に続き姫路市の岩成会長・岡山市の目黒会長・兼松名誉会長の挨拶で開会しました。続く来賓の深澤鳥取市長から、この姉妹交流会の成功を期待し、歓迎する旨の挨拶がありました。



研修会では、「高齢化社会に対応した自治会はどうあるべきか」をテーマとして意見交換が行われました。

姫路市は三年前から課題検討委員会を設けて自治会の課題を検討しているが、組織率が低下し、都市部の人口減少による空洞化・中心市街地における極端な昼夜の人口差と役員の高齢化で、事務処理をはじめ自主防災会活動や災害時要援護者支援など自治会活動に困難を来すなどの問題が報告されました。

岡山市からは、災害時の隣同士の助け合いができるかが問題となっており、特に都市部では自治会による高齢者の把握が充分にできていない、災害時要援護者支援の登録は約一割にすぎない。田舎の方は地域の絆や組織はしっかりしていて、独居老人のバトン事業や老人サロン・防犯パトロールを新たにやっているが、地域が抱える問題は多岐にわたっている、との報告がありました。

鳥取市からは、国府町の山崎会長より『里山の取組みについて』事例発表があり、午後は現地を視察して終了しました。（報告 大西）

### 稲葉山地区

#### 地区の行事は「まちづくり協議会」で！

稲葉山地区まちづくり協議会  
会長 古川潤一

稲葉山地区の諸行事は、昨年まで自治会主管で行っていたが、平成二十六年から稲葉山まちづくり基本構想に基づき毎年開催している地区運動会、地区文化祭、地区敬老会を通じて、ふれあいと交流機会の十分な確保と、高齢者の社会参加・生きがいの拡充を図るためこの三大行事を「まちづくり協議会」に移行した。

まちづくり協議会のもと行事毎に、関係諸団体の協力を得て「実行委員会」を立ち上げ運営。本年度の主な行事が終了したので概要を述べる。

○ふれあい大運動会（五月二十五日開催）  
主な新規導入は  
◎全校児童と町内会長が一緒に入場し準備体操を行った。（ふれあいと交流の充実）

◎「乙姫様の贈り物」高齢者向け競技で賞品入り袋を吊り上げ、そのまま席に戻るので高齢者が気軽に参加でき好評。（高齢者の生きがいアップ）

○敬老会（九月十四日開催）  
参加者楽しく歓談して頂くため、

椅子席の継続、料理選定の工夫、カラオケコーナーを設けるなど余興等の充実を図った。

特にいなば幼稚園児の歌とダンス、稲葉山小学校児童（立川三丁目子ども麒麟獅子保存会）による麒麟獅子舞は観衆を大いに魅了した。

#### ○文化祭（十一月一日～二日）

今回初めて東中学校吹奏楽部に出演頂き大好評を得た。いなば幼稚園全園児の可愛らしい作品、稲葉山小学校全児童の素晴らしい作品、地域の方の展示作品群の力作揃いに稲葉山地区の文化・芸術レベルの高さを再認識した。

地区内行事を「まちづくり協議会」に移行し主行事が終わったがトラブルもなくマンネリ化を防ぎ、ほぼ初期の目的を達成した。また行事費用が一元化され管理がやり易くなった。来期に向け総括を行い必要があるれば、コミュニケーション計画の見直しを図りたい。





屋台

めて感心致  
しました。  
笛や太鼓の  
練習は隣の  
町内に習い  
に行つて指  
導を受け、  
踊りの練習  
は子ども会  
や女性の会

有楽町町内会は世帯数百世帯、人口二百五十人の町内です。  
明徳地区では神社の氏子が多く、昔から聖さんの祭りには各町内が屋台を出して練り歩き、祭りを楽しんでいきます。有楽町に屋台はなく、いつも見る側に回っていました。昭和六十二年、屋台を借りても祭りに出ようという声が高まり立川町より屋台を借りて参加することになりました。屋台の引き取り、組立て、電気配線、スピーカー等音響装置の取付等専門的技術が必要でしたが、その都度町内の誰かが解決してくれました。町内は、人材の宝庫であると改めて感心致しました。



全員の集合写真

が中心になって練習をしたりと、分担をしながら、町内一丸となり、祭りの準備に取り組みました。祭り当日は大いに盛り上がり祭りを楽しむ事が出来ました。祭りに参加することで、年齢や性別に関係なく大人から子供まで仲良くなり、笑顔で挨拶の出来る町内になりました。この年以降毎回参加しています。平成二十二年には、衆楽園の屋台を譲り受け、有楽町自前の屋台として初めて参加することが出来ました。中高生の参加、県外から帰省しての参加など、七十名を超える参加となりました。

有楽町町内会は、祭りを通して人との触れ合いを大切にし、笑顔で挨拶の出来る楽しい町内を目指しています。

## 平成26年度 全国自治会連合会静岡県沼津大会に出席して

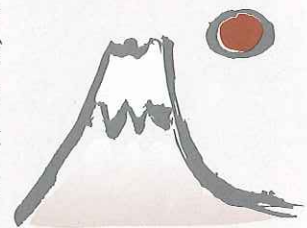
鳥取県自治会連合会 理事 房安一也



富士の裾野で開催された全国大会に1,000人を超える参加者があり鳥取県からも6名が参加しました。会長挨拶、会長表彰等があり鳥取市でも、岡田一壽監事がめでたく受賞されました。その後大会宣言が採択され、講演会、パネルディスカッション、交歓会などがあり大会を終了しました。

今回の大会に参加して一番印象に残ったことは第3部で行われたパネルディスカッション「地域の防災力をいかに高めるか」をテーマに行われた討論会でした。静岡県の危機管理監をコーディネーターに、各分野で活躍されている女性を

含む3名のパネラーは、身近な問題を具体的に生かした発言で、特にすばらしいものでした。「地域の防災って何?」自分の大切な人を守ること、いざ災害のとき、死なない活動、あなたが生き残るために何が必要か、具体例を示し、これらを日々の活動につなげる工夫はなど、自治会に属するものにとって参考にしたいことばかりでした。



鹿野地区

「まちづくり活動について」

鹿野まち普請の会

会長 廣田啓祐

鹿野地区は、鹿野藩亀井家四万三千石の城下町の風情を残した地区であり、「鹿野祭りの似合うまちづくり」をテーマとして、街並み整備を中心に地域資源を活かしながら、「町に誇りの持てるまちづくり」に取り組んできました。鳥取市のまちづくり方針に沿って、平成二十一年三月一日に十八の全自治会と十七のまちづくり活動団体が集まり、「伝統文化を守りながら、新しくまちを造る・再生する」の意味で名付けた「鹿野まち普請の会」を発足し、翌年二十二年三月には住民アンケートにより住民の意向を把握しながら、四季薫るまち鹿野（花あふれる歴史と文化のまち）「鹿野まちづくり計画」を策定し、連携しながら取り組んでいるところです。その活動内容の一部を紹介します。



一、歴史と文化を大切にすま

◇ 風情のある街並みの整備・改善活動の取組み(竹プランター作成花植栽)

◇ 城山公園の清掃・管理の取組み(年四回全自治会参加・一回約百人参加)

◇ 伝統文化の継承と新しい文化の創造の取組み(盆踊り・亀井太鼓の継承)



盆踊り



城山公園清掃



四、安全・安心のまち

◇ 防災・防犯対策の取組み(自主防災会活動・避難訓練)

◇ 交通安全対策の取組み(小学生下校時見守り活動)

これらの目標を活動団体の主体的な活動の中心にしながら鹿野まち普請の会が支援・援助し進めていく形で活動したいと考えています。今後鹿野の原風景である城下町・田園風景を守り活かしながら、「まちに誇りを持てるまちづくり」に向かい努力していく所存であります。

編集後記

「自治連だより」第十八号を発行するにあたり、関係各位にはご協力いただき感謝申し上げます。

現在、まちづくり協議会等におきまして、その地区の特色を生かした様々な取組みが行われています。これからはお互いの情報の交換など行われ、より良いまちづくりに反映されればと思います。

これからも編集委員一同、努力する所存でございますのでご協力よろしくお願致します。

(広報委員長 村上)

三、健康で笑顔あふれるまち

◇ あいさつ運動の取組み(あいさつ標語のぼり旗作成掲揚)

二、花あふれる美しいまち

◇ 四季折々の花づくり推進の取組み(桜・山吹・芝桜・曼珠沙華・コスモス等の植栽)